





# 目次

大学院理学研究科

< 名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 >		ページ
1 . 調査対象大学等の概要等	.....	1
2 . 授業科目の概要	.....	6
3 . 施設・設備の整備状況、経費	.....	8
4 . 既設大学等の状況	.....	9
5 . 教員組織の状況	.....	2 2
6 . 留意事項等に対する履行状況等	.....	3 2
7 . その他全般的事項	.....	3 7



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人名古屋大学

【連携外国大学の設置者】英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）

## (2) 大学名

名古屋大学大学院

【連携外国大学の名称】

THE UNIVERSITY OF EDINBURGH (THE UNIVERSITY OF EDINBURGH)

(注)・連携外国大学が置かれている国で用いられている言語による名称を( )書きで記入してください。

## (3) 大学の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町1

【連携外国大学の本部の位置】

The University of Edinburgh, Old College, South Bridge, Edinburgh, EH89YL

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	( マツオ セイイチ ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	( クニエダ ヒデオ ) 國枝秀世 (平成25年4月)	( タカハシ マサヒデ ) 高橋雅英 (平成29年4月)	変更理由：理事任期満了のため 変更年月日：平成29年4月1日(29)
理事	( ワタナベ ヨシヒト ) 渡辺芳人 (平成24年4月)		
理事	( マツシタ ユウシュウ ) 松下裕秀 (平成27年4月)		
理事	( イチハシ カツヤ ) 市橋克哉 (平成27年4月)	( ザイマ シゲアキ ) 財満鎮明 (平成29年4月)	変更理由：理事任期満了のため 変更年月日：平成29年4月1日(29)
理事	( キムラ ショウゴ ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	( タケシタ ノリユキ ) 竹下典行 (平成24年8月)	( イソガイ ケイスケ ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	変更理由：理事任期満了のため 変更年月日：平成29年1月13日(29)

理事	(ゴウ ミチコ) 郷 通子 (平成27年4月)		
研究科長	(マツモト クニヒロ) 松本 邦弘 (平成27年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成29年4月)	変更理由：研究科長任期満了のため 変更年月日：平成29年4月1日(29)
副研究科長	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成27年4月)	(アワガ クニオ) 阿波賀 邦夫 (平成29年4月)	変更理由：副研究科長任期満了のため 変更年月日：平成29年4月1日(29)
副研究科長	(アワガ クニオ) 阿波賀 邦夫 (平成27年4月)	(オオスミ ケイタ) 大隅 圭太 (平成29年4月)	変更理由：副研究科長任期満了のため 変更年月日：平成29年4月1日(29)

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例)平成26年度に報告済の内容 (26)  
平成29年度に報告する内容 (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

年 人 人

0.50 0.00

Cつ 息 設の場合ば - ù 季铖専衿 - 塾ふ隠女尺人の状規学庭 の 翠告鶴楡 0 蹲愼 齒 血 遮」詫分N 輪

- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分頁」 「学位係傳 8
- ・ < > 内の数字は、母体となる研究科等の全体の入学定員を記入してください。

報告年度

区 分	4月入学		10月入学		4月入学		10月入学		4月入学		10月入学	
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
A 入学定員	2		2									
	( - )		( - )		( )		( )		( )		( )	
	[ - ]		[ - ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]	
	-	1	0									
志願者数	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	-	1	0									
受験者数	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	-	1	0									
合格者数	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
	-	1	0									
B 入学者数	( - )	( - )	( - )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
入学定員超過率 B / A		0.50		0.00								

0.25 倍

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 様式は、平成29年4月開設の場合の様式です。「春季入学」、「その他の学期」については、各国際連携学科の入学時期に合わせて表を修正してください。
  - (例) 「春季入学」、「4月入学」、「10月入学」等
  - ・ ( ) 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
  - ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

報告年度

学 年	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学	4月入学	10月入学
	-	0	0	0		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]
	( - )	( - )	( - )	( - )		
	-	1	0	1		
	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	[ 1 ]	[ ]	[ ]
	( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )
	-	0	0	0		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ ]	[ ]
	( - )	( - )	( - )	( - )	( )	( )

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている





(研究指導)

名古屋大学・エディンバラ大学

-

46  
50

170  
482

14  
43

1

当助  
する手  
教に  
真相

( 3 ) 未開講科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	名古屋大学	該当なし					
2	エディンバラ大学						
3	共同開設科目						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

( 4 ) 廃止科目

番号	開設大学	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	名古屋大学	該当なし					
2	エディンバラ大学						
3	共同開設科目						

- (注)・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

( 5 ) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

( 6 ) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{000}} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部				520					
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.06	昭和24年度 平成8年度	愛知県名古屋市 千種区不老町	
教育学部				280					
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.10	昭和24年度 平成9年度	愛知県名古屋市 千種区不老町	
法学部				620					
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05	昭和24年度 平成9年度	愛知県名古屋市 千種区不老町	
経済学部				840		1.06	昭和24年度	愛知県名古屋市 千種区不老町	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入した。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)		昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)		昭和24年度		
学部共通				20					
情報文化学部							平成5年度	愛知県名古屋市 千種区不老町	平成29年より学生募集停止 平成29年より学生募集停止
自然情報学科	4				学士(情報文化学)		平成5年度		
社会システム情報学科	4				学士(情報文化学)		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20					
情報学部				135			平成29年度	愛知県名古屋市 千種区不老町	
自然情報学科	4	38		38	学士(情報学)	1.02	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38		38	学士(情報学)	1.02	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59		59	学士(情報学)	1.11	平成29年度		
理学部				1080		1.05	昭和24年度	愛知県名古屋市 千種区不老町	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入した。
数理学科	4	55		220	学士(理学)		平成7年度		
物理学科	4	90		360	学士(理学)		昭和24年度		
化学科	4	50		200	学士(理学)		昭和24年度		
生命理学科	4	50		200	学士(理学)		平成8年度		
地球惑星科学科	4	25		100	学士(理学)		平成4年度		
医学部				1520			昭和24年度	愛知県名古屋市 昭和区鶴舞町65	
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	昭和24年度		
保健学科	4	200	3年次 20 2年次 6	858	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.04	平成9年度	愛知県名古屋市 東区大幸南1-1-20	



大学の名称	名古屋大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
教育発達科学研究科 教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32		64	修士(教育学)	0.67	昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町
(博士後期課程)	3	16		48	修士(教育) 博士(教育学) 博士(教育)	0.99		
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22		44	修士(心理学)	0.83	平成12年度	
(博士後期課程)	3	15		45	修士(臨床心理学) 博士(心理学)	1.06		
法学研究科 総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35		70	修士(法学)	0.87	昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋市千種区不老町
(博士後期課程)	3	17		51	修士(比較法学) 修士(現代法学) 博士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)	0.72		
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50		170	法務博士 (専門職)	0.52	平成16年度	
経済学研究科 社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30		60	修士(経済学)	0.84	昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町
(博士後期課程)	3	15		45	修士(経営管理学) 博士(経済学)	0.51		
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14		28	修士(経済学)	1.25	平成12年度	
(博士後期課程)	3	7		21	博士(経済学)	0.76		
情報学研究科 数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14		14	修士(情報学)	0.78	平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町
(博士後期課程)	3	4		4	修士(学術) 修士(情報学) 修士(学術)	0.75		

大学の名称

備考

既設学部等の名称	修業 年限	入 定	学 員	編入 定員	入学 収定	容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年	設 度	所 在 地
----------	----------	--------	--------	----------	----------	--------	------------	-------------------	--------	--------	-------------



大学の名称

備考

既設学部等の名称	修業 年限	入 定	学 員	編入 定員	入学 収定	容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年	設 度	所 在 地
----------	----------	--------	--------	----------	----------	--------	------------	-------------------	--------	--------	-------------

大学の名称	名古屋大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入学 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	20		40	修士(医療技術学)	1.27	平成14年度	愛知県名古屋市東 区大幸南1-1-20	
(博士後期課程)	3	7		21	博士(医療技術学)	0.56			
リハビリテーション療法学専攻 (博士前期課程)	2	10		20	修士(リハ リテーション療法 学)	1.40	平成14年度	愛知県名古屋市東 区大幸南1-1-20	
(博士後期課程)	3	4		12	博士(リハ リテーション療法 学)	1.50			
工学研究科 化学・生物工学専攻 (博士前期課程)	2				修士(工学)		昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋市千 種区不老町	平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3				博士(工学)				
マテリアル理工学専攻 (博士前期課程)	2				修士(工学)		平成16年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3				博士(工学)				
電子情報システム専攻 (博士前期課程)	2				修士(工学)		平成16年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3				博士(工学)				
機械理工学専攻 (博士前期課程)	2				修士(工学)		平成16年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3				博士(工学)				
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2				修士(工学)		昭和35年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3				博士(工学)				
社会基盤工学専攻 (博士前期課程)	2				修士(工学)		平成16年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3				博士(工学)				

大学の名称	名古屋大学							備考		
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 年	学 員 人	編 入 学 員 年 次 人	収 定 容 員 人	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率 倍	開 設 年 度	所 在 地	備 考
結晶材料工学専攻 (博士前期課程)	2					修士(工学)		昭和52年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3					博士(工学)				
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2					修士(工学)		平成5年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3					博士(工学)				
量子工学専攻 (博士前期課程)	2					修士(工学)		平成3年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3					博士(工学)				
マイクロ・ナノシステム工学専攻 (博士前期課程)	2					修士(工学)		平成16年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3					博士(工学)				
物質制御工学専攻 (博士前期課程)	2					修士(工学)		平成8年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3					博士(工学)				
計算理工学専攻 (博士前期課程)	2					修士(工学)		平成9年度		平成29年より学生 募集停止
(博士後期課程)	3					博士(工学)				
有機・高分子化学専攻 (博士前期課程)	2	34			34	修士(工学)	1.23	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8			8	博士(工学)	1.00			
応用物質化学専攻 (博士前期課程)	2	34			34	修士(工学)	1.00	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8			8	博士(工学)	0.25			

大学の名称	名古屋大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28		28	修士(工学)	1.07	平成29年度	
(博士後期課程)	3	6		6	博士(工学)	1.16		
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39		39	修士(工学)	0.97	平成29年度	
(博士後期課程)	3	9		9	博士(工学)	0.22		
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39		39	修士(工学)	0.94	平成29年度	
(博士後期課程)	3	9		9	博士(工学)	0.33		
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34		34	修士(工学)	1.08	平成29年度	
(博士後期課程)	3	8		8	博士(工学)	0.00		
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35		35	修士(工学)	1.28	平成29年度	
(博士後期課程)	3	9		9	博士(工学)	0.33		
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34		34	修士(工学)	1.14	平成29年度	
(博士後期課程)	3	8		8	博士(工学)	0.12		
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34		34	修士(工学)	0.97	平成29年度	
(博士後期課程)	3	9		9	博士(工学)	0.44		
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47		47	修士(工学)	1.19	平成29年度	
(博士後期課程)	3	13		13	博士(工学)	0.38		



大学の名称							備考			
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 年	学 員 人	編入学 定 員 年次 人	収 容 員 人	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率 倍	開 年 度	設 度	所 在 地
生物機構・機能科学専攻								平成9年度		
（博士前期課程）	2		37		74	修士（農学）	1.14			
（博士後期課程）	3		11		33	博士（農学）	0.54			
応用分子生命科学専攻								平成10年度		
（博士前期課程）	2		39		78	修士（農学）	1.21			
（博士後期課程）	3	蓮	岨		36	博士（農学）	0.44			
生命技術科学専攻								平成16年度		
（博士前期課程）	2		28		56					







---

---

---

---

'« ~€'Ä 'D€ ^u h@u h \* ly 0ã RpTcb^u h@p ò y "Ty 20æEc è ¯ àWbB^â t@ ç Z% F• ‡d £



















科目	科目	科目
科目	科目	科目
科目	科目	科目
科目	科目	科目

平成29年3月退職のため（29）

15	助教	村上 慧	選択	研究指導
16	助教	下川 淳	選択	研究指導

平成28年12月退職のため（29）

平成29年4月異動のため（29）

---

科目	科目	科目
科目	科目	科目
科目	科目	科目
科目	科目	科目

上記(3) - ・ (3) - の合計

---

科目	科目	科目
科目	科目	科目
科目	科目	科目
科目	科目	科目

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  ( 2 7 年 6 月 )	<p>(同一設置者が設置する医学系研究科名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻)</p> <p>1. 養成する人材像が一般的・包括的な記述となっており、このことからディプロマポリシーも明確ではない。国際連携教育課程制度の趣旨は、我が国の大学と外国の大学が、双方の強みを活かし、また、補完しあいながらより充実した教育研究を行うことであることを踏まえ設置計画の履行に当たっては以下について留意すること。</p> <p>(1) 社会一般や入学を希望する学生に対して、国際連携教育課程制度を通じて養成される人材がどのような専門分野で活躍するかなどを具体的に示すこと。特に、ディプロマポリシーにある「国際的共同研究を推進」について具体的に明示すること。</p>	<p style="color: red;">留意事項</p>	<p>(1) 医学分野において従来からの個別化医療とともに、Genome解析手法を加え、より診断技術の精度を上げたprecision medicine(精密医療)を推進するため、本学における神経がん融合研究、アデレード大学における臨床と結びついたトランスレーショナルリサーチといった両大学の特色を相互補完的に取り入れたカリキュラムに基づく国際連携教育課程制度を通じて養成される人材は、医学分野、特に基礎医学研究と観察的・介入的臨床研究を融合したトランスレーショナルリサーチにおいて国際的に活躍する人材であり、ディプロマ・ポリシーに以下(参考1)のとおり追記して示すこととした。</p> <p>また、養成される人材の例として、日本とオーストラリアの精神医学的疾患の特徴と研究体制を十分に把握し、この2国を含む複数国を巻き込んだ国際共同治験をリードする臨床医学研究者、がん研究領域で研究者間の国際的関係を構築し、各国のがん研究の連携を図り、全体として世界のがん研究をリードする基礎医学研究者、日本で高齢化社会に対する各種先駆的な取組に触れ、医学的見地から必要とされる技術について理解し、日本とオーストラリ</p>



(3) カリキュラムポリシーについても、上記を踏まえつつ、対応関係に齟齬が生じないように留意すること。

2. 年間の研究指導計画や成績評価基準が不明確であるため、学生が十分に理解できるよう、あらかじめ十分な説明を行うこと。

3. 連携外国大学の教員組織について、本専攻の教育研究の目的を十分に果たし得る体制となっていることについて、社会一般や入学を希望する学生に対して、あらかじめ明示すること。

独創力を備え、新たな分野を開拓する気概を持つ。  
異分野連携によるイノベーションの創出を行う資質を持つ。  
(28)

(3) カリキュラム・ポリシーについて、ディプロマ・ポリシー及びアドミッション・ポリシーへの対応を踏まえ、トランスレーショナルリサーチについて、以下(参考3)のとおり追記して示すこととした。

このカリキュラム・ポリシーに沿って、トランスレーショナルリサーチの知識・技術・倫理に加え、国際的研究組織構築のための戦略・手法・実例など幅広い知識を教授する講義を設けるなど、国際的視野と国際的競争力を有する医学研究者の養成を目標としたカリキュラムを作成した。

(参考3)

カリキュラム・ポリシー  
「世界トップ大学同士の相互補完的協同教育により、高い倫理性、科学的論理性を修得させ、幅広い学問的素養を身に付けさせ、医学分野、特にトランスレーショナルリサーチにおける倫理と国際的共同研究の組織構築の戦略手法を学ばせること」

(28)

年間の学修計画書作成にあたっては、学生が既に身につけている知識、スキルや具体的な研究分野等に応じて、各指導教員から学生に対して履修モデル等を示しつつきめ細かな指導を行っている。また、成績評価基準についてはシラバスに記載するとともに、各指導教員が学生に対して個別に説明することとした。(28)

名古屋大学とアデレード大学で、基礎医学領域と臨床医学領域から幅広い専門分野を設定し、その医学研究領域をカバーする専任教員を有する教員組織についてシラバスとともに配付した。また、国際連携専攻入学時全体ガイダンスの中で、入学者に対して詳細に説明した。(28)

平成28年10月、連携外国大学の教員組織をホームページに掲載した。(29)

左記にあわせて、平成28年10月末までに連携外国大学の教員組織をホームページに掲載する。(28)

	<p>4. 連携外国大学との調整を行う教員に関する業績等が明らかでないが、調整を行い得る十分な能力を持った者を配置し、連携外国大学との連絡調整に支障をきたすことのないよう十分な体制を構築すること。</p>		<p>連携外国大学との調整を行う教員は、英語能力が高く、博士課程の学生を指導するのに十分な研究業績と国際経験を有するべきであると考え、オーストラリア国籍を有するとともに、カナダのSaskatchewan大学でBiologyの博士号、イギリスのCambridge大学で発行される英語教員免許を有し、オーストラリアのMonash大学薬学部でAssociate Professorとして薬物立体構造解析の研究を行っていた経歴を持つ教員を配置した。また、業務遂行を円滑に行うために語学能力の優れた専属秘書を配置し、体制を強化した。(28)</p>	
<p>設置時 (28年6月)</p>	<p>(同一設置者が設置する理学研究科名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻)</p> <p>1. 本専攻に置く博士後期課程の教育を研究指導のみによって行うのであれば、双方の大学が同種の学位を授与するに当たって求めている標準的な要件を踏まえつつ、本専攻において行われる研究指導において最低限行われるべき内容や要件を協定書等において明確にすること。その上で、国際的に通用する質を備える専攻として、教育研究活動の一層の水準の向上に努めること。</p> <p>2. 双方の大学から研究指導教員を選出する際は、専攻分野に関して高度の専門性が求められる博士後期課程の目的を踏まえ、学生が志向する研究分野に関する実質的な指導を行うことができる体制を構築すること。</p> <p>3. 協定書の締結にあたっては、申請書に示されている内容を確実に反映させること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>研究指導において最低限行われるべき内容である、 1年次の「口頭試問」 2年次の「Poster Presentation」 留学先における研究(最短6か月から1年間) 3年次の「最終年次研究報告会」 博士論文執筆 最終的な口頭試問の実施については、両大学ですでに確認されている。また、学生に対しては、ガイダンスでこれらの内容を通知した。(29)</p> <p>研究指導教員選出の際は、専攻長及びアカデミックコーディネーターが、学生が志向する研究分野や内容を聴取し、学際的な共同研究の観点も踏まえつつ、効果的な研究指導が行われることを事前に十分検証した上で行うことにした。(29)</p> <p>協定書の締結にあたり、申請書に示した基本的な学務条項について記載した。また、研究指導に係る詳細については、ガイダンスにおいて周知した。(29)</p>	

設 置 時

留意事項

( 2 8 年 1 1 月 )

記入



設 置 時 の 計 画

変更内容・状況，今後の見通しなど

b 実施方法

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期 : 無
- b 教員や学生への公開状況, 方法等

(注)・「 a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学大学院理学研究科とエディンバラ大学理工学部は、長年の研究交流及び教育連携で培われた信頼関係を土台に、互いの教育・研究設備や資本を共有しながら、教育・研究及び学位の質を国際的に保証する学位システムとして、本専攻を平成28年10月に設置した。

同月には名古屋大学においてキックオフミーティングを開催し、設置の趣旨とこの新しい学位制度について説明する機会を設けたところ、学内外から200名を超える参加があり、関心の高さを伺わせた。また、キックオフミーティングの際には運営委員会を開催した。

現在在籍している本学の学生1名は、平成29年10月から半年間のエディンバラ滞在を予定している。また、本専攻の受験資格として極めて高い語学力を求めているにもかかわらず、博士課程前期課程学生による本専攻への関心は高く、すでに数名の学生が進学を希望している。

自己点検・評価報告書

- a 公表(予定)時期
- b 公表方法  
学内で検討中

認証評価を受ける計画

学内で検討中

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有  無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成29年 6月 1日 )